

せいなんだより

2018年1月号



〒814-0002 福岡市早良区西新 3-12-14

Tel 092-846-9207 Fax 092-846-9208



早良区子どもプラザ／西南子どもプラザ(愛称“せいなん”)は、福岡市の委託を受けて西南学院大学が運営しています。

1月の予定



開館時間：午前10時～午後4時

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	休館日	休館日	休館日		さおり先生 (10:00～11:30)	おとうさん、 きんしゃい！
7	祝 8	9	10	11	12	13
休館日		なつめ先生 (10:30～11:30) たろうちゃん (10:30～12:00)	ふくろう先生 (12:30～14:30)	おひげの先生 (13:30～16:00)	保育コンシェルジュ さん(要予約) (10:30～12:00) さおり先生 (10:00～11:30)	読み聞かせ (わらべうた) 10:30～10:50 11:00～11:20
14	15	16	17	18	19	20
休館日		たろうちゃん (13:30～16:00)	保健師さん (10:30～12:00) ふくろう先生 (12:30～14:30)	International Day (10:00～12:00) おひげの先生 (13:30～16:00)	さおり先生 (10:00～11:30)	
21	22	23	24	25	26	27
休館日		ミニ講座 (14:00～15:00) たろうちゃん (13:30～16:00)	ふくろう先生 (12:30～14:30)	おひげの先生 (13:30～16:00)	さおり先生 (10:00～11:30)	絵本タイム 10:30～10:50 11:00～11:20
28	29	30	31			
休館日		たろうちゃん (13:30～16:00)	ふくろう先生 (12:30～14:30)			

*8日(成人の日)も通常通り開館しています。*年末年始休暇12月29日(金)～1月3日(水)です。

さおり先生の「あわてんぼう母さんの月イチ日記」

あけましておめでとうございます。今月は、子どもの長所についてお話しします。

私は、自分があわてんぼうだということ自認していますし、いろいろな能力が足りないことも分かっていますので、「どんな人からでも学ぶ点はあるはず。」と思って常日頃から他の人から学ぼうと努めています。「この人は、ここはすごいなあ。」とどんな人でも長所を見つけることができるのは、私の長所かもしれません。子どもプラザに通うようになって、自分でも驚いたのですが、0、1歳の子どもの、「この子は、ここがすごいなあ。」と長所を発見できます。

娘の長所も当然、発見できています。しかし、長所を伸ばし、短所を改善することは、子どもを育てるうえで大切なことだと分かっていますが、長所の伸ばし方が分かりません！なぜ分からないのか考えてみたのですが、私が発見する長所は、その人がもともと持っている資質のようなものだったり、そもそも私が「すごいなあ」と思っていることなので、それ以上のレベルにするアイデアがわからないためだと思われます。では、どうしたらいいのか？よく分からないので、とりあえず娘に率直に、あなたのここがすごいとお母さん思っているよ、と伝えてみました。娘は、それはとてもとてもうれしそうでした。そして、指摘された点が自分の長所だと強く意識したようでした。それ以降、すごいと言われた長所を意識しながら、何か取り組むことが増えているようです。「ははあ、長所を意識させるだけでも長所は伸ばせるんだなあ。」と実感しています。

本年も、西南子どもプラザにどんどん遊びにきてください。

ボランティアさんが手伝ってくださって、お手玉やお人形など少しずつ新しくなっています！

プラザ長を務めます柳澤さおりです。本学人間科学部で、社会心理学を担当しています。娘とわいわいと大騒ぎの毎日を過ごしています。



お知らせ

◎西南クロスプラザ（学生食堂）は1月8日（祝・月）まで冬季休業です。



せいなんスタイル

あけましておめでとうございます。年末年始のお休みはいかがお過ごしでしたか？ご実家に帰省された方は、おじいちゃんおばあちゃん、親戚の方からたっぷり可愛がられたことでしょうか。愛情をたっぷり注がれて満たされたお子さんのニコニコ笑顔が、お土産ですね。

子どもが成長していく上で、様々な人と接することはとても大切です。親だけでなく、いろいろな人から受ける愛情や、育みあう信頼感は、子どもの心の栄養になっていきます。子どもは、自分を無条件に可愛がってくれる存在に、親以外にも支えてくれる人がいることを知り、心強く感じます。また、多様な考え方や行動に触れることで、子どもはたくさんの刺激を受け、世界を豊かに広げていきます。

西南子どもプラザは、利用者の皆さん、ボランティア、スタッフなど、年代も価値観も違う様々な人が集う場です。たくさんの方々との関わりや、温かい眼差しの中で、お子さんがすくすくと成長していけたらいいですね。

2018年もどうぞよろしく願いいたします。

リレーコメント

2016年夏頃より、ボランティアに参加しています。語らずともコミュニケーションを身につけていく小さな子どもたちに、日々新たな発見や出会いがあり、子どもの見守りなどの楽しいひとときを過ごしております。千葉県船橋市に長らく住んでおりました。思い掛けず、「かたして」（船橋市近隣では、「片付けて」の意）と言ってしまったことがあります。その時、小さな子どもたちが、「かたして」に、戸惑っていることに気づきました。小さな子どもたちの『耳』（聴きとり）は、お喋りが始まるずっと前からはじまっているのだそうです。

あとから知ることになるのですが、「かたして（アクセントも同じ）」は博多弁で「仲間に入れて」だったのです。周りの方も、おもしろいおばちゃんやなあ…と思われたかもしれません。プラザのボランティアは、地域コトバの練習にもなっております。『餃子乃友』の安（あん）野（の）とも子でお見知りおきくださいね。

（ボランティアスタッフ 安野とも子）



ミニ講座

「感染症に備えよう！」

講師：早良区保健福祉センター健康課
高橋 恵莉さん

冬はインフルエンザやノロウイルスなどの感染症にかかりやすい季節です。

冬にかかりやすい感染症を中心に、手洗い方法などの予防法についてもお話しします。家族で感染症を予防しましょう。

23日（火） 14:00～15:00

*ミニ講座は、内容や日時を変えて月1回行います。

～先月のミニ講座より～



先月のミニ講座は、絵本専門士・柴田香さんによる「親子で楽しむ絵本の時間」でした。絵本を選ぶ時は、お母さんが好きなものを選ぶと、絵本の良さが子どもに伝わります。また図書館や子どもプラザなどで読んで気に入ったものは、手元に置くと、何度も繰り返し楽しめるということなどをお聞きしました。それから、おうちでの読み方は、膝の上や寝転がってなど、その家庭のスタイルでいいそうです。お母さんだけでなく、お父さんやおじいちゃんおばあちゃんに読んでもらっても、それぞれの味わいがあり、一層絵本の世界が広がるでしょう。絵本はコミュニケーションツールの一つ。絵本を介して、親子のふれあいを楽しみ、豊かな時間を過ごしてくださいね。

☆プレママ・プレパパの訪問も随時歓迎します。お手数ですが、不審者対策のためプレママ・プレパパであることが確認できるもの（母子手帳など）をお持ちください



西南子どもプラザ

検索



この“せいなんだより”は、前月下旬（25日頃）から“せいなん”で配布、また西南学院大学ホームページにも掲載しています。